

まちかどトーク（福岡地区）議事要旨

日時：令和8年2月18日（水）18:30～20:15

場所：福岡にぎわい交流館

参加者：51人

1 市長あいさつ

2 市政に関する説明

「地区の現状と今後のあり方のひとつの提案」について地域課から説明の後、質疑応答

参加者

多機能地域自治は、地域のどの範囲で設置するのか。

地域課

原則、市内36地区（連合自治会単位）で設置することとなる。

参加者

福岡地区の北陸街道沿いでは、「クラシックまち街道」として景観を守る取組が行われている。このため、高断熱・高気密・高耐震といった住宅や太陽光パネルの設置が規制され、若い世代が規制のない郊外に移り住む傾向にある。景観を守る取組も必要だが、住みやすさも両立できるようにしてほしい。

市長

他の地区でも住宅購入を機に若い世代が郊外に流出する現象が起きている。市役所内で課題を共有したい。

参加者

まちなかから郊外へ移り住んだ若い世代に、まちなかで暮らす人々とのつながりを大切にする意識を持ってもらいたい。

参加者

独身者を集めた茶話会のような出会いの機会を提供してはどうか。

市長

高岡地区広域圏事務組合では、出会い、交流を目的とした婚活イベントを開催している。また、県が主体となり大規模な婚活イベントの開催も検討されている。

参加者

福岡地区には世帯数の少ない単位自治会が多い。小規模な自治会は、担い手不足が顕著であり運営が困難なことから、自治会同士で連携することが必要と考えている。

地域課

単位自治会で合併を検討される場合があるが、町内会費や公民館・地域の神社の管理・修繕に係る積立金などが問題となり、合意に至らないことが多い。このため、隣接する複数の自治会が一つのグループを形成し、役員の選出や地域活動を行うやり方（「ゆるやかな連携」）を提案しているところ。

参加者

「ゆるやかな連携」のメリット・デメリットを分かり易くまとめた説明資料を作成しては。

自治会同士の連携を促すため、補助金の交付や IT 化支援などのインセンティブを検討しては。

地域課

説明資料については、市公式ホームページへの掲載を検討したい。これまでの経験から、補助金の交付といったような金銭的なインセンティブによる普及・促進の効果は低いと思われる。IT 化支援については、「結ネット」の初期導入費用への補助金の交付や、住民への結ネットの機能紹介、効果的な使い方を助言するなどのサポートを行っている。

参加者

高岡駅（クルン高岡）に市庁舎を移転してはどうか。福岡地区からもアクセスが良く、あいの風とやま鉄道の利用者も増加すると考える。また、現庁舎の跡地は市民会館や博物館としての利用を提案したい。

市長

市庁舎の問題は、ゼロベースで考えている。市庁舎の整備には国からの補助がなく、市の財政に大きく影響する。既存の施設を活用する案も含め、市庁舎に関する市民アンケートを実施し、多くの意見を聞きながら進めていきたい。

参加者

福岡駅前土地区画整理事業が完了した後の福岡庁舎（福岡支所）の扱いは。

市長

将来的な活用については、今後しっかりと検討していきたい。

参加者

お宮では獅子舞等の活動する若者と、お宮を維持する年配の方々との間に伝統的な地域愛が存在する。こうした切り口で地域単位を見直し、支援していくことで、大きな単位での地域活動ができると考える。

3 意見交換

「高岡市人口ピラミッド」を基に、市長より説明の後、意見交換

参加者

私の自治会では、不燃ごみの置き場が無く、別の町内の月極駐車場を借りて、不燃ごみを置いている。条例では、集合住宅の建設時に設置が義務付けられている公園は不燃ごみ置き場にできないと伺っているが、特例で認めてもらいたい。

参加者

自治会への加入率が低下しているが、どう考えているのか。

地域課

全国的にみると高岡市の加入率は高い。加入率の低下は、核家族化が進行し、集合住宅に住むような自治会に加入しない世帯が増えたことが主な理由と考えている。